

iStorage NS21P

再インストール手順書

NEC

2003年8月29日

目次

1	はじめに.....	3
1.1	インストールの流れ.....	4
2	ユーザデータのバックアップ.....	5
3	MWA のインストール、コンフィグレーション、iStorage NS への接続.....	5
4	FDISK ユーティリティによるパーティションの削除.....	5
5	ブートデバイスの順位の確認.....	6
6	「Network Attached Storage CD-ROM」を用いたインストール.....	6
7	iStorage NS の起動.....	7
8	確認と設定.....	7
9	OS のミラーリング機能の設定.....	10

1 はじめに

<注意> 再インストールを行うとハードディスク上のデータはすべて削除されます。再インストール作業の前に、必要なデータを外付けバックアップ装置などにバックアップして下さい。システム復旧のためのバックアップの方法に関しては、以下の Web ページ上に公開するシステム復旧手順書と、BackupExec または NetBackup のマニュアル類を参照して行ってください。

<http://www.sw.nec.co.jp/products/istorage/guide/>

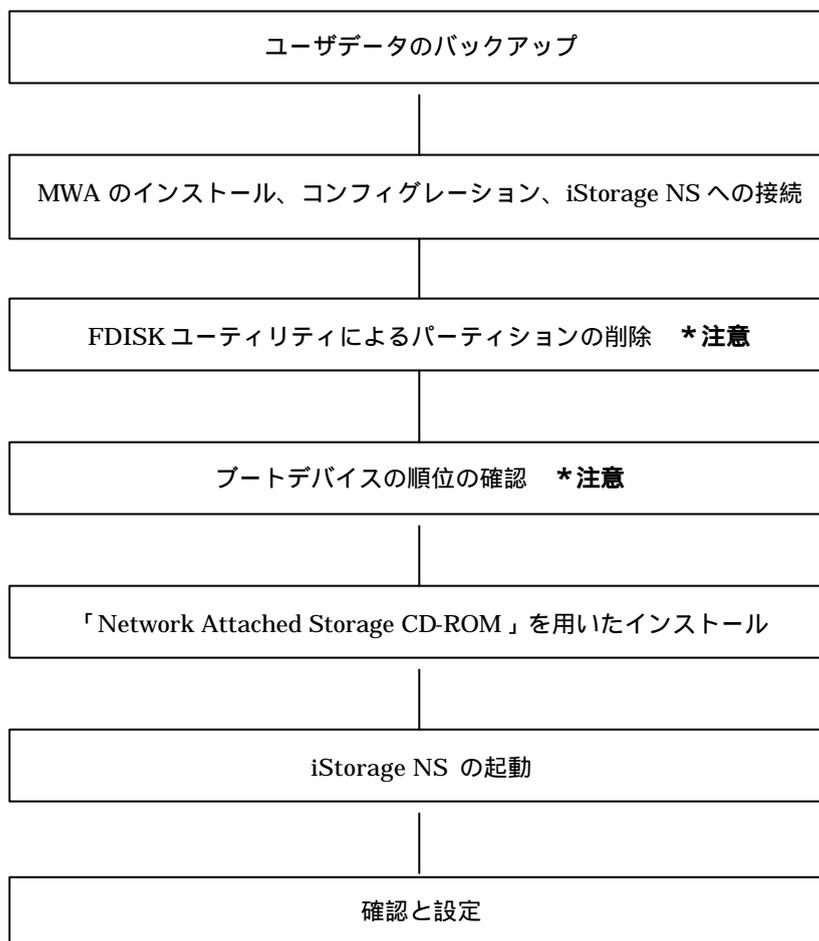
同じネットワーク内で複数の iStorage NS を再インストールする必要がある場合でも、1 台ずつ行ってください。

<準備していただくもの>

- 装置添付の「Network Attached Storage CD-ROM」
- 装置添付の「保守・管理ツール CD-ROM」
- 装置添付のユーザーズガイド
- Web に公開されている「iStorage NS シリーズ用リモートコンソールのための MWA 操作マニュアル」
- MWA コンフィグレーション用のフロッピーディスク

以下の手順に従って再インストールを進めてください。

1.1 インストールの流れ



2 ユーザーデータのバックアップ

バックアップに関しては、ご使用のバックアップソフトウェアのマニュアルを参照してください。

3 MWA のインストール、コンフィグレーション、iStorage NS への接続

RAID EzAssist の操作および BIOS の設定確認・変更は MWA(Management Workstation Application)を使用して行います。MWA のインストール、コンフィグレーション及び iStorage NS への接続方法は、「iStorage NS シリーズ用リモートコンソールのための MWA 操作マニュアル」を参照してください。

4 FDISK ユーティリティによるパーティションの削除

MWA を使用して iStorage NS のすべてのパーティションを削除します。

1. iStorage NS の電源を ON にし、CD-ROM ドライブに保守・管理ツール CD-ROM をセットします。
2. MWA にメインメニューが表示されます。[FDISK の起動]を選択して Enter キーを押します。
3. [Do you wish to enable large disk support ? [Y]:]と表示されるので、Y または N キーを押します。
4. メニューが表示されます。A キーを押し、[A) Delete all partitions]を選択します。[Delete all partitions for which drive(1-2) [1]:]とメッセージが表示されたら、キーボードの 1 を押します。
5. ディスク 1 の情報と、[Are you sure you want to delete?]とメッセージが表示されたら、Y キーを押します。これでディスク 1 のパーティションがすべて削除されます。ESC キーを押してメニューに戻ります。
6. ディスク 2 のパーティションを削除するため A キーを押し、[A) Delete all partitions]を選択します。
7. [Delete all partitions for which drive(1-2) [1]:]とメッセージが表示されたら、キーボードの 2 を押します。ディスク 2 の情報と、[Are you sure you want to delete?]とメッセージが表示されたら、Y キーを押します。削除後、ESC キーでメニューに戻ります。
8. すべてのパーティションが削除されたかを確認します。V キーを押して[View partition(s)]を選択します。[Fixed Disk 1 of 2]と[Fixed Disk 2 of 2]のいずれも[No partitions]になっていれば削除は正常に行われています。ESC キーでメニューに戻り、S キーを押します。[Changes saved. Press any key to reboot...]と表示されたら、何かキーを押して iStorage NS を再起動します。
9. 保守・管理ツール CD-ROM のメインメニューが表示されたら、[終了]を選択し Enter キーを押し

ます。

10. 終了メッセージが表示されたら保守・管理ツール CD-ROM を取り出し、iStorage NS の電源を OFF します。(FD がある場合は取り出してください。)

5 ブートデバイスの順位の確認

ユーザズガイド 2 章の「BIOS 設定の注意点」を参照してブートデバイスが以下の順番に設定されていることを確認します。また、[Advanced]-[Advanced]-[Installed OS] : [PnP O/S]であることを確認します。

1. [ATAPI CD-ROM Drive]
2. [Removable Devices]
3. [Hard Drive]

【注意】<LAN 接続の場合のみ>

以下の方法で MWA モードを解除します

サーバウィンドウの上で右クリックし、コンテキストメニューの[リモートコンソールの動作指定]をクリックした後、[指定なし]にチェックをします

6 「Network Attached Storage CD-ROM」を用いたインストール

再インストールには、添付の「Network Attached Storage CD-ROM」を使います。

1. 添付の「Network Attached Storage CD-ROM」を iStorage NS の CD-ROM ドライブにセットし、リポートします。フロッピーディスクをセットしている場合は、フロッピーディスクドライブから取り出してください。
2. CD-ROM から自動的に起動して、Network Attached Storage ソフトウェアが iStorage NS にインストールされます。インストールを正常に終了すると断続的なパターンでピーブ音が鳴ります。異常終了した時は連続的にピーブ音が鳴ります。
3. CD-ROM ドライブから「Network Attached Storage CD-ROM」を取り出します。
4. iStorage NS の電源を OFF します。

【チェック】

POWER ランプが消灯したことを確認してください。2 ~ 3 分経過しても POWER ランプが消灯しない場合は、強制電源 OFF (POWER スイッチを 4 秒ほど押し続ける) をしてください (強制電源 OFF についてはユーザズガイド 1 章の「強制電源 OFF」を参照してください)。

【ヒント】

再インストールが異常終了すると、連続的なビープ音が鳴ります。その場合、CD-ROM が装置添付のものでない可能性がありますので、正しいCD-ROM をセットして iStorage NS の電源を OFF にした後、再度 ON にしてください。

7 iStorage NS の起動

iStorage NS の電源 ON 後、初期設定ツールを使用してコンピュータ名、IP アドレスなどを設定してください。初期設定ツールの操作、および WebUI の起動に関してはユーザーズガイドの第 2 章を参照してください。

8 確認と設定

次に説明する確認と設定をしてください。

iStorage NS へのログオン

管理 PC より WebUI にて iStorage NS に接続し、[メンテナンス] - [ターミナルサービス] を選択してターミナルサービスクライアントを起動します。

administrator 権限を持ったユーザ名を用いて iStorage NS へリモートログオンします。

仮想メモリの変更

システムのプロパティから仮想メモリの値を変更します。ターミナルサービスクライアントを使用して行います。

1. マイコンピュータを右クリックし、[プロパティ] を開きます。
2. [詳細] タブをクリックし、[パフォーマンスオプション] を開きます。
3. [仮想メモリ] の [変更] をクリックし、[選択したドライブのページングファイルサイズ] の [初期サイズ] を搭載メモリの 1.5 倍に、[最大サイズ] を搭載メモリの 3 倍に変更し、[設定] をクリックします。[初期サイズ]・[最大サイズ] として設定できる値は “4095” までです。搭載メモリの 1.5 倍、3 倍の値が “4095” を超える場合は、“4095” を設定します。
4. [OK] をクリックして、[仮想メモリ] [パフォーマンスオプション] [システムのプロパティ] ウィンドウを閉じます。
5. ターミナルサービスクライアントをログオフし、iStorage NS を再起動します。

デバイスマネージャでの確認 ~DVD/CD-ROM ドライバの更新~

[ComputerManagement] の [デバイスマネージャ] で、[DVD/CD-ROM drivers] を確認します。

❗と表示されている場合はドライバを更新します。以下の手順で行います。

1. 管理 PC より WebUI にて iStorage NS に接続し、[メンテナンス]-[ターミナルサービス]を選択してターミナルサービスクライアントを起動します。
2. administrator 権限を持ったユーザ名を用いて iStorage NS へリモートログオンします。
3. マイコンピュータを右クリックして表示されるメニューから [Manage] を選択し、起動した [ComputerManagement] の [デバイスマネージャ] を選択します。
4. [DVD/CD-ROM drivers] を確認し、❗と表示されているところがある場合は、❗を選択後、右クリックからプロパティを開きます。
5. [ドライバ] タブをクリックし、[ドライバの更新] ボタンをクリックします。
6. 「デバイスドライバのアップグレードウィザード」が起動します。[次へ] ボタンをクリックします。
7. [ハードウェア デバイス ドライバのインストール] 項目が表示されます。[デバイスに最適なドライバを検索する (推奨)] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。
8. [ドライバファイルの特定] 項目が表示されます。[場所を指定] のみをチェックし、[次へ] ボタンをクリックします。
9. [デバイスドライバのアップグレードウィザード] ダイアログボックスが表示されます。[製造元のファイルのコピー元] に「C:\\$WINNT\$\SYSTEM32」を指定し、[OK] ボタンをクリックします。
10. [ドライバファイルの検索] 項目が表示されます。[次へ] ボタンをクリックします。
11. [デバイスドライバのアップグレードウィザードの完了] 項目が表示されます。[完了] ボタンをクリックします。
12. プロパティダイアログボックスを閉じます。

デバイスマネージャでの確認 ~不明なデバイスドライバの更新~

[Computer Management] の [デバイスマネージャ] で、[System Devices] を確認します。「不明なデバイス」と表示されているところがある場合は、ドライバの更新を以下の手順で行います。

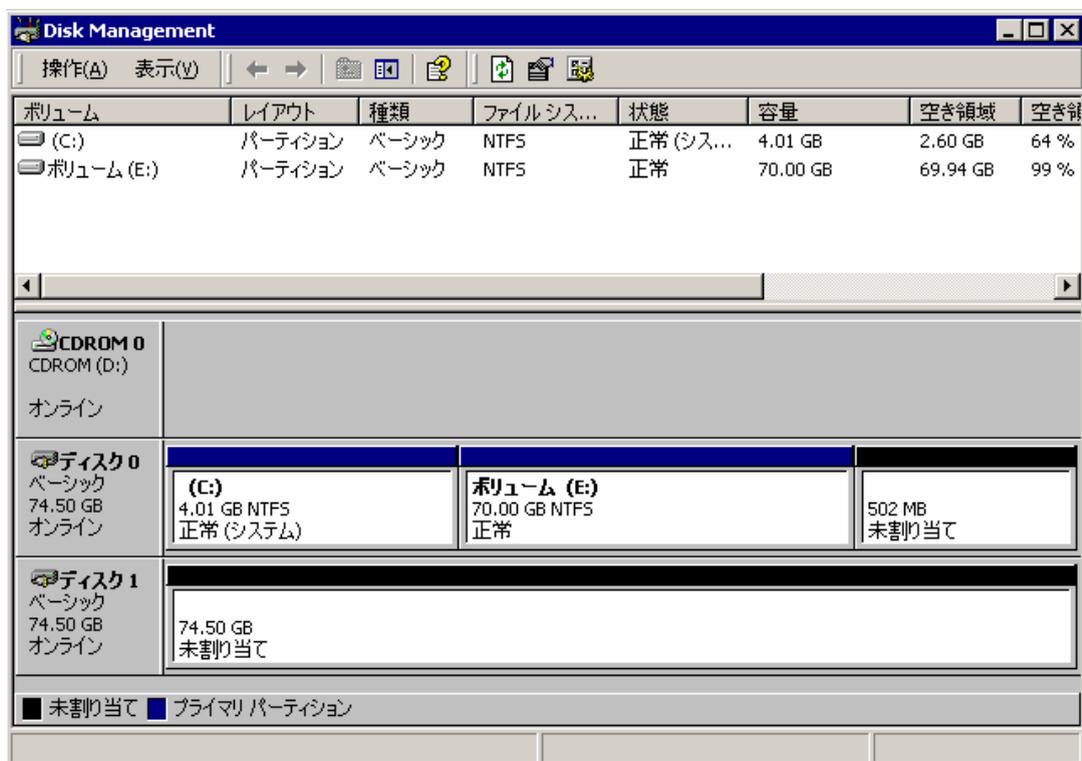
1. マイコンピュータを右クリックして表示されるメニューから [Manage] を選択し、起動した [ComputerManagement] の [デバイスマネージャ] を選択します。
2. [System Devices] を確認し、「不明なデバイス」と表示されているところがある場合は、[不明なデバイス] を選択後、右クリックからプロパティを開きます。
3. [ドライバ] タブをクリックし、[ドライバの更新] ボタンをクリックします。
4. 「新しいハードウェアの検出ウィザード」が起動します。[次へ] ボタンをクリックします。
5. [このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する] を選択し、[次へ] ボタンを

クリックします。

6. [NEC Baseboard Management Controller] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。
7. [次のハードウェアデバイスのドライバをインストールします] ダイアログボックスが表示されます。
[NEC Baseboard Management Controller] を指定し、[次へ] ボタンをクリックします。
8. 「Windows2000 DriverSet v1.00 上のファイル'necras.sys'が必要です」というメッセージが表示されます。
9. [参照] ボタンをクリックして、「C:\WINNT\System32\drivers」を指定してから [OK] ボタンをクリックします。
10. [新しいハードウェアの検出ウィザードの完了] ダイアログボックスが表示されます。[完了] ボタンをクリックします。
11. プロパティダイアログボックスを閉じます。
12. 再起動の確認メッセージが表示されます。[NO] ボタンをクリックします。

ディスク管理での確認 ~ ドライブ文字の変更 ~

Computer Management 画面で、ディスクの管理を選択します。ドライブ文字を確認し、必要に応じてドライブ文字を変更します。再インストール直後は、CD-ROM ドライブがDドライブ、OS領域がCドライブとして設定されます。異なっている場合は変更してください。データ領域(E:)を作成し、下図のような構成になったら [Computer Management] を終了し、iStorage NS を再起動してください。



9 OS のミラーリング機能の設定

WebUI の「メンテナンス」-「ターミナルサービス」にて iStorage NS に接続した後、以下の手順でソフトミラーの設定を行います。

1. [スタート] [設定] [コントロールパネル] [AdministrativeTools] [Computer Management]から、「記憶域」の下の「ディスクの管理」をクリックします。
2. ディスク 1 が「不明」の状態になっている場合、右クリックして[署名] をクリックします。
3. 署名するディスク(ディスク 1)を選んで[OK] をクリックします。「不明」が「ベーシック」に変わります。
4. ディスク 0 で右クリックして、[ダイナミックディスクにアップグレード] をクリックします。
5. 「次のベーシックディスクをアップグレードします」で、ディスク 1 もチェックして[OK] をクリックします。
ディスク 0 (すでにチェックされている)
ディスク 1
6. アップグレードするディスクの一覧が表示されます。[アップグレード] をクリックします。
7. 「アップグレードしますか？」と確認されます。[Yes] をクリックします。
8. 「マウント解除します。続行しますか？」と確認されます。[Yes] をクリックします。
9. 「アップグレードを完了するためにシステムを再起動します。」とメッセージが表示されます。
10. [OK] をクリックすると、システムの再起動が開始されます。WebUI は残りますが、ターミナルサービスのウィンドウがなくなります。
11. WebUI が起動したら[メンテナンス]-[シャットダウン]を選択してもう一度再起動します。
12. 起動後、WebUI のターミナルサービスにて iStorage NS に接続します。起動の確認には Ping コマンドなどを使用してください。
13. [スタート] [設定] [コントロールパネル] [AdministrativeTools] [Computer Management]から、「記憶域」の下の「ディスクの管理」をクリックします。
14. 「ディスクの管理」にて、C:で右クリックして、[ミラーの追加] をクリックします。
15. ディスク 1 をクリックして[ミラーの追加] をクリックします。



ディスクミラーリング中には、他の操作は行わないで下さい。

16. 「これでブートボリュームをミラーしました。ミラーディスクから起動できるようにするには boot.ini ファイルにエントリを追加します。」とメッセージが表示されるので、[OK] をクリックします。ミラーリングが開始されます。
17. ディスク 0 の残りのボリュームについても手順 14、15 と同様の手順でミラーを行う。

18. ミラーリングが完了したら一度 WebUI から再起動を実行(*1)します。

 (*1) 10分程度待っても再起動が行われない場合は、強制電源 OFF を行った後、再度、iStorageNS の電源の ON を行います。この手順は、ユーザズガイドの POWER スイッチを参照願います。

以上で OS の再インストール手順は終了です。

最後に必要であれば、バックアップしたデータをリストアします。リストアの手順は、以下の Web ページ上で公開するシステム復旧手順書と BackupExec または NetBackup のマニュアル類を参照してください。

<http://www.sw.nec.co.jp/products/istorage/guide/>

再インストール後は、ユーザや共有、アクセス権などの設定も初期化されます。必要に応じて再設定を行ってください。